

# だっこするよ

平成28年9月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子



こどもは宝です。生きているだけで宝です。

3・11の東日本大震災から5年が過ぎました。ある高校の広報誌、是非読んでいただきたく記載いたしました。

「・・・今回の震災で親戚が2桁近く亡くなった。特に義弟は、奥様とまだ就学前の子ども3人を含む家族全員を津波に連れ去られた。・・・中略・・・テレビには見せられる光景しか出ない。2千人が犠牲になった「元は町だった場所」が「破壊した」ことを知った。船もトレーラも建物も金属も樹木も泥も人間も判別できぬ程粉々に、巨大なローラーで圧縮、粉碎してから撒き散らしたように、数メートルの厚さで何かが町全体を覆っていた。・・・中略・・・私は、マスコミ映像には出せない「惨い」という言葉の意味を心から実感した。何も構造物無くなった海岸には現在も5百人近い遺体が瓦礫に埋もれていて死臭が漂っているのだ。見つかった遺体の火葬のために隣の町まで1時間と貴重なガソリンを使って車で移動し、空っぽの骨壺も同じように抱えて参列する葬儀、見つかっただけ幸せだと、自分を納得させ、参列する親戚もそれぞれ大勢の家族を失っている。

義弟は、3月11日以来、ご飯もパンも口にせず、主食を絶っている。まだ家族が戻らないのに、自分だけ食べるのは不可能だと言って聞かない。もう一度言う。テレビには放送できる映像しか出てこない。何か所もの小・中学校の体育館がそれぞれに何百という遺体がビニールシートにくるまれて毎日「処理」され補填されていく中を、自分の娘を探しに行く父親の気持ちを私は理解できるとはとても言えない。娘と孫をすべて失った義父母は、今も毎朝、仏壇にご飯を出すたびに泣いている。こどもは宝だ。こどもは本当に宝だった。どうしてもっと大事にしておかなかったのだ。もっと叱るべきときに叱り、良いことは良い、悪いことは悪いと言っておけば良かった、と呟くのだ。こんな「惨い」、不条理な話があるだろうか。こどもは宝です。生きているだけで、宝なのです。こんな惨い運命にあった人もいる中で、幸運にも生きている我々は、だからこの幸運を無駄にはしてはいけません。全くの不運で亡くなった人々の代わりにより良く、より高く生きていくのは、生きている人間の使命だと思います。・・・」千葉県F高23年9月広報誌から引用させていただきました。

読むたびに、生きていてこどもたちを抱きしめられる私たちは、もっとこどもたちに「あなたは、宝だよ」と言いたい。もっとこどもたちと「しっかりと向き合いたい」と思うのです。こどもは、未熟で成長過程です。そのため、ときに手がかかり、困ることも沢山あります。しかし、それは全て我が子が「生きてこそだ」と申し上げたい。陸前高田市の保育園園長とお話する機会がありました。停電の中でも泣くこともなく普段通りでした。日頃の訓練がどんなに有難かったかと話されていました。平成24年から園長になった私は、何が起こっても「こどもの生命だけは守りたい、どんなことをしてもこどもを親元へ生きて返そう」と心に誓いました。

災害時、園では保護者の方がお迎えに来られるまでは、責任を持ってお預かりいたします。また、園舎が危険と判断した際は、第2避難場所旧赤羽台東小学校へ避難いたします。緊急連絡先の変更、お仕事がお休みの場合や通常と違う勤務の場合は、朝の受け入れ時に、連絡先を必ずお伝え下さい。

今日、9月1日は防災の日です。自然災害時について、ご家庭で話し合ひましょう。

9月、こどもたちは、運動会へと向かっていきます。年長児は保育園最後の運動会です。スローガンは「輝け！みんなの笑顔で金メダル」リオに続け！！と頑張ります。写真は、年長さん主催の「こども祭り」の様子です。